



連携団体

岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町

(1)取組の背景、経緯

- 鳥取県東部1市4町(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)と兵庫県北但西部2町(香美町、新温泉町)は、古くから生活圏・経済圏を一体とする地域で、移住定住促進、観光振興、医療・福祉等の各施策分野で連携してきた。
- 圏域をエリアとする山陰海岸ジオパークがユネスコ世界ジオパーク認定を受けているほか、令和元年5月に麒麟獅子舞をはじめとする圏域の文化財で構成するストーリーが日本遺産に認定されている。

(2)取組の内容

■麒麟のまち圏域都市機能等調査分析業務の実施

麒麟のまち圏域の現状分析や将来推計、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を踏まえ、今後必要となる連携の取組について調査・研究を行った。
(主な内容)

麒麟のまち圏域の人口構造、産業構造、都市機能の分析、圏域住民アンケート・企業アンケートの実施、医療機関ヒアリング・企業ヒアリング(ワーケーション)の実施、圏域の将来推計及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響分析 等

■新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施

新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施に関する協定を締結し、圏域住民が安心して円滑にワクチン接種を受けられる体制を整備した。
(主な内容)

- ・住民票所在地以外で接種を受けるために必要なやむを得ない事情の有無にかかわらず、圏域内の住民票所在地外の協力医療機関での接種を可能とする。
- ・圏域内の住民票所在地外の協力医療機関での接種に必要な事前の「住所地外接種届」を不要とする。

(主な実績)

- ・他市町の住民等への接種件数:5,142件(令和4年1月末時点)、協力医療機関:78機関(令和4年2月末時点)
- ・全人口に対する2回目接種率:鳥取市 76.38%、岩美町80.03%、若桜町85.16%、智頭町79.87%、八頭町79.86%(参考:鳥取県 77.38%)
香美町 83.84%、新温泉町85.01%(参考:兵庫県77.99%) ※接種率は令和4年2月20日時点

(3)取組の特徴・ポイント

■麒麟のまち圏域都市機能等調査分析業務の実施

○人口の将来推計や圏域住民のニーズ、事業者のSDGsの取組など、今後の連携の深化に向けて、幅広く調査分析を行った。

○調査分析に当たっては、GISを活用し、人口の動きや医療需要が視覚的にわかりやすくなるようにした。

■新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施

○新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施については、週1回程度担当者会議等を開催し、連携したワクチン接種体制の構築の検討等を行った。本圏域は、県境をまたぐため、医師会との調整においては、鳥取県東部医師会と兵庫県美西方郡医師会、豊岡市医師会との調整が必要となったが、鳥取県側については鳥取市が、兵庫県側は香美町・新温泉町が協力して依頼等を行った。

○ワクチン接種の共同実施に当たっては、当初、各市町へ供給されるワクチン量が限定的で、先々の供給スケジュールも不透明な状況の中、共同実施開始時期の調整に苦慮した。また、当初、都道府県間でのワクチンの割当量の調整は不可とされていたことから、県境をまたぐ共同実施において、市町における接種実績とワクチンの配分量に差異が生じることが懸念されたが、鳥取県、兵庫県の両知事の「ワクチン共同接種体制の構築についての合意」により解消した。

(4)今後の展開

■麒麟のまち圏域都市機能等調査分析業務の実施

○本件調査を踏まえ、本圏域で今後更なる連携が期待される医療等をはじめとする様々な分野について、具体的な取組等の検討を進め、令和4年度中に策定する第2期ビジョンに位置付けたい。

○本調査を実施する中で、連携自治体よりSDGsに関する連携について提案があった。圏域全体の持続的な発展を進めるため、圏域の共通課題を踏まえながら、具体的な取組の検討を進める。

■新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施

○協定の期間を令和4年9月30日まで延長し、3回目の追加接種を実施するとともに、小児への接種についても、圏域で共同して実施することとしている。今後も、国の動向を踏まえながら連携を図っていく。